

<専門家のご意見>

奈良県立医科大学附属病院 感染症センター 笠原センター長

- ・ 新型コロナウイルス感染症は、重症になるイメージが強いが、無症状・軽症者が全体の9割を占める(資料 p.18)。
軽い症状でも新型コロナウイルス感染症の可能性がある、そして、無症状・軽症者からも感染する、ということに注意が必要。一方で、基礎疾患のある方、高齢者、変異株感染者では重症化する。
「うつさない」意識も持ち、ふだん同居していない人と対面するときは、マスクを着けましょう。
- ・ 家庭内感染を防ぐ七カ条(資料p. 23)は、厚生労働省が昨年4月に作成した8カ条をもとに、奈良県版としてブラッシュアップしたもの。
家庭内での感染が多くなっているため、注意いただきたい。
無症状・軽症でも感染させると申し上げたが、そこまで家庭内で防止することは現実的ではないため、「症状が出てから」、家庭内で過ごす場所を分け、過ごす時間をずらし、マスクを着用する。
自宅療養者や濃厚接触者のいる家庭でも活用可能。
- ・ 感染者は会食等には行っていないことが多いが、屋外での飲食や、会話時にマスクを外すことや、自宅でのお茶会など、「つついマスクを外して対面になってしまう機会」(資料p. 25)があったことがしばしばある。
「マスク着用」だけでは伝わりにくい個別の場面を具体的に伝え、感染対策を呼びかけていただきたい。
- ・ 社会福祉施設等のクラスター対策は、昨年度にマニュアルを作成し、クラスターが発生しないようにする実地指導を行っている。引き続き、社会福祉施設等でのクラスターを予防していきたい。
- ・ 奈良県新型コロナウイルス感染症対策強化事業「ならこびnet」では、ホームページを立ち上げ、ツイッター、フェイスブックで正しい情報を発信している。
感染防止のための正しい知識・情報に基づき、県民の皆さまに、正しい感染回避行動をとっていただくことにより、感染者の減少につながると信じている。

発信にあたっては、報道機関にも協力いただきたい。

- ・ 感染症は、「うつす」と「うつされる」がセット。
「感染しない」対策、「感染させない」対策は、共に重要。
「うつさない」対策は、日本でも、世界的にも、軽視されているが、新型コロナウイルス感染症は、無症状・軽症者からも感染する。
「うつらない」ことでは1人の感染者しか減らせないが、「うつさない」ことによって、たくさんの感染者を減らせる可能性がある。県民の皆さまに「うつさない」意識を持っていただくことで、感染者を減らしていけると期待。